

2020年7月17日

あやべ市民新聞(4面)に掲載されました

市民けいざい

医療用機器分野に新規参入

初の製品「フリーレッド」発売

日東精工

4月に「メ
ディカル新規
事業部」を発
足して医療用
機器分野への
参入準備を進めていた
東証1部上場の日東精
工(本社・井倉町、材
木正己社長)は15日、
同事業部初の製品とな
る医療用照明器「フリ
ーレッド」の製造、販売
の態勢が整ったことを

この製品は、一般手
術や診療の際に用いる
光を発生させる装置。
高輝度で自然光に近い
色の光を発生させる使
い捨ての「ライツユニ
ット」を、専
用の電源ボ
ックスに最
大3本まで
接続して使
用する。
同社は中
期基本計画
「ミッシヨ
ンG」(2
019~28
年)の中で、
「ファスナ



新製品「フリーレッド」の外観
(写真はいずれも日東精工提供)

「ファスナ



医療機器の製造要件を満たすよう既存工場
をリノベーションした本社内の専用工場

「産機」制御シ
ステム」に続く4つ目
の事業の柱として「医
療分野」をターゲット
に設定。昨年10月に準
備室を設置し、医療機
器専用製造工場(本社
敷地内)を用意して医
療機器製造業登録、第
二種医療機器製造販売

業許可の取得も行き、
事業運営の準備を進め
ていた。
医療機器分野は、品
質管理や製造技術面で
非常に厳しいハードル
が求められるため、同
社では、今回の製品開
発、製造、販売で得ら
れる経験や知見を更に
生かし、本格的に医療
分野を新たな事業の柱
としていくための新製
品開発につなげていき
たい考え。

業許可の取得も行き、
事業運営の準備を進め
ていた。

材木社長は「将来的
には既存3事業の製品
技術との融合がもたら

す新しい製品開発によ
って、世の中に価値の
ある製品を提供してい
きたい」としている。
フリーレッドの初年
度の販売計画は、ライ
トユニット(税抜き参
考価格)1本1万2千
円)が6千本で、電源
ボックス(同)1台5
万2千円)は500台。
【高崎健太】